



# 国府台女子学院

# 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

2024年11月号 11月1日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

## 読書の秋



年間1回ずつですが、朝読書の時間に各学級に行って読み聞かせをしています。今年度は、中学年以上の児童には、読み聞かせをする文は短い内容で、文や絵から想像したり、感じたり、考えたりしてほしいと考え、本を選んでいきます。

3、4年生には、谷川俊太郎 文 和田誠 絵「ともだち」を読みました。子どもたちがイメージする“ともだち”や日常の“ともだち”とのかかわり方を振り返りながら、作者に共感する部分と疑問に感じる部分がそれぞれあり、素直な反応が見られました。答えを出す必要はなく、いわゆるよい子になる必要もなく、考えていくことが大切だと思っています。

“どうしたら このこの てだすけが できるだろう” “あったことがなくても このこは ともだち”。そんな考え方をみんなができるようになったら、もう少し平和な世の中になるかもしれないなと思いました。

秋の夜長、テレビやパソコンを消して、10～20分間、ご家族で読書を楽しんでみませんか。



## 11月行事予定

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1日 秋の音楽集会          | 16日 入試準備          |
| 2日 振替休業(11/30分)    | 17日 第2回入学試験       |
| 3日 祝 文化の日          | 合唱部全国大会           |
| 4日 振替休日(文化の日)      | 18日 振替休業(11/17分)  |
| 5日 職員会議            | 19日 クラブ           |
| 7日 4年生新聞出前授業       | 20日 2年生、5年生 命の授業  |
| 3年生校外学習            | 6年生校外学習           |
| 8日 6年生学力テスト        | 21日 4年生つぼみスクール    |
| 9日 休業日             | 22日 成道会           |
| 11日 朝会             | 23日 祝 勤労感謝の日      |
| 1年生校外学習            | 25日 寒天鍛錬～11/29    |
| 12日 クラブ            | 26日 職員会議          |
| 13日 授業参観・学級懇談会     | 30日 私立小研修会のため自宅学習 |
| 5年生スキー学校説明会        | 12月2日 朝会          |
| 14日 5、6年生文化庁学校巡回公演 | 3日 クラブ            |
| 15日 報恩講・午前中授業      |                   |

## 伝統芸能を学ぶ

文化庁巡回公演事業を活用し、5、6年生が日本舞踊について学びました。本公演は今月の14日ですが、事前学習としてワークショップがあり、挨拶の仕方から始まり、基本の所作や踊りの振り付け等を教えていただきました。

きちんとした姿勢、指先まで注意を払っての挨拶、腰を落として行うすり足などを体験すると、動きと一緒に気持ちまでがまっすぐ伸びるような気がしました。

子どもたちはお手本の動きをまねしながら、時には真剣な表情で活動し、終わった後は満足した様子でした。

14日の本公演は保護者の方もご覧いただけます。ワークショップの成果とともに日本舞踊の公演をお楽しみください。

## 秋の校外学習(TDL)

縦割りグループの活動をとおして、「協力することの大切さを学ぶ」「お互いを思いやる心を育てる」ことを目的として実施しました。

当日は、来場者の多くがハロウィンの仮装をしていて、見るだけでも夢の国を楽しむことができました。今年はグループ間ではぐれてしまう子や具合が悪くなる子が少なく、穏やかに過ごすことができました。

## 今月の目標

「進んで仕事をし、後始末もしっかりしましょう。」

## 「報恩講」の意義

報恩講(ほうおんこう)とは、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のご命日を縁として行われる仏教行事です。聖人は、「阿弥陀如来は、いのちあるもの全てを善悪に関わらず漏らさず救う」という、阿弥陀仏の救いを説かれました。その教えは現代を生きる私達の心にも響くものだと思います。

今現在、ロシアとウクライナの長期化する戦争。イスラエル軍がガザ地区に潜伏するハマスに対する報復攻撃から始まり、周辺国との武力衝突へと拡大していく戦争。この国同士が削り合う「戦争」が起こると、敵国(敵勢力)を憎み、殺し、その攻撃対象は兵士だけでなく市民にも広がり、多くの犠牲者が出てきます。この怖い現実を前に、親鸞聖人の教えは、私たちに何を問いかけているのでしょうか？戦争になると、善と悪の境界線は非常に曖昧になり、それぞれの立場で、自分達の行為は正義で、敵国は悪であると主張し、お互い削り合い、国力と国民の心が蝕まれていきます。しかし、暴力によって円満解決できるものではなく、戦争が終わったとしても、そこに残るのは「憎しみ」と「後悔」しかありません。私達は、この世界で一人独立して生きている訳ではありません。仏教では「縁」の思想を説き、この世界は、互いにつながり、支え合いながら、この「私」が存在していると教えてくれるのです。報恩講は、単なる儀式ではありません。それは、私たちが自分自身を見つめ直し、自分以外の「他力」によって生かされていることを知り、より良い生き方を探求するための機会(チャンス)なのです。戦争のない平和な世界の実現は、私達一人ひとりの願いです。その願いを少しずつでも叶えるために、互いに協力し、共に歩んでいく心を育てていきましょう。



## 芸術の秋



10月9日、千葉交響楽団を招いての芸術鑑賞教室がありました。

プロの演奏家が奏でる柔らかくて力強い音色が心地よく響き、心が豊かになるひとときを過ごすことができました。聴くだけでなく、オーケストラの伴奏で校歌を歌う貴重な経験や、指揮者の合図で手拍手を大きくしたり小さくしたりしてオーケストラと一緒に演奏する気分も味わうことができました。

11月1日には音楽集会があります。限られた時間の中で子どもたちなりに一生懸命練習を重ねました。努力を認めていただけるとありがたいです。